

「関西創生戦略(改訂版 中間案)」に対するご意見・ご提案及び関西広域連合の考え方

平成29年4月
関西広域連合本部事務局

「関西創生戦略(改訂版 中間案)」に関する意見等を募集した結果、7名から延べ21件(うち意見の公表を望まないもの1件)のご意見・ご提案をいただきました。
いただいたご意見・ご提案に対する関西広域連合の考え方は下記のとおりです。

第1部 人口ビジョン

整理番号	ご意見・ご提案	関西広域連合の考え方
1	人口ビジョンについて ・我が国の人口が1億に達したのは、昭和40年(1964年)代であり、新幹線の開通、東京オリンピックの開催などがあった。昭和20年から昭和40年の20年間に、我が国はいろいろな面で発展を遂げた。現在、人口減少、少子高齢化により労働不足などが言われており、高齢者の定義を75歳とするという話も出て来ているが、若い人たちの仕事を妨げないような施策により、健康な高齢者の人たちのキャリアを生かし、労働不足を補うことを関西広域連合でも考慮願いたい。	・関西経済の活性化を図るため、女性の活躍する場の拡大、若者や高齢者の社会の担い手としての新たな活動の促進等、人に焦点をあてた施策などを通じて人口減少社会を克服することとしています。このため、年齢や性別に左右されない「農林水産業を担う人材の育成・確保」を着実に実行するとともに、いただいた意見も踏まえながら、潜在力を有する高齢者等が社会の担い手として活躍できる取組について検討してまいります。

第2部 総合戦略

2	・この計画には、関西創生戦略という名前が付けられており、基本的には長期的な視点に基づいて立案されたものになっている。したがって、その内容には中長期的な項目が多くなるのは当然である。 ・しかし、行政が中長期的計画と位置づけた項目は、しばしば題目が折に触れて繰り返されるだけで実現に近づかないものが多い。そういった事態を防ぎ、中長期計画と位置づけたものを実現へと導くためには、現時点において何をすべきかについて多少なりとも述べておく必要がある。 ・例えば、現時点で即座に手を付けることができず、中長期計画とせざるを得ない原因は何であるか(最初に解決すべき課題は何か)について、加筆しておくなどが必要ではないだろうか。	・関西創生戦略は、中長期的な視点を持ちつつも、計画期間内に緊急かつ集中的に実施する施策をとりまとめたものです。このため、現時点で取組可能な国等への提案や要望などについても記載しています。 ・今後、中長期計画を策定する際には、いただきましたご意見も参考にさせていただきます。
3	・関西創生戦略において、若者層の意見を戦略的に施策に取り入れるべきである。 ・関西広域連合の基本目標の実現に向けて、様々な施策に未来を担うこれからの「若者世代」の大きなエネルギーを推進力として地方創生・関西創生づくりを行って欲しい。 ・そのためにも、昨年度初めて開催された「若者世代による意見交換会」のように若者世代へ向けた関西広域連合施策への理解と参画を促すカタチあり、繋がる意見交換会、もしくは若者世代による関西未来創生部会(仮称)として、継続して定期的に開催し、若者世代意見を今後の関西創生戦略施策へ、是非とも反映し活かして欲しい。	・若者世代に関西広域連合について身近に感じてもらい、広域連合施策の見える化等を図ることを目的として昨年開催した「若者世代による意見交換会」については、さらに若者世代への関西広域連合施策の理解と参画について促進を図るため、次年度以降も引き続き開催してまいります。 ・また、いただきましたご意見を踏まえ、意見交換会での意見を関西広域連合施策に活かすことができる仕組みを検討してまいります。

2 基本目標・基本方向・具体的な施策

■基本目標 1 2020年に関西の転出入の均衡を目指す

整理番号	ご意見・ご提案	関西広域連合の考え方
4	・JR新大阪駅とJR関西国際空港駅とを結ぶ「関西国際空港新幹線」(通称「泉州新幹線」)の実現。	・与党整備新幹線建設推進プロジェクトチーム北陸新幹線敦賀・大阪整備検討委員会の中間報告(別紙)に記された、関西国際空港へのアクセスを含め四国新幹線の整備計画化に向けた調査の実施を国に働きかけていきます。
5	・京阪電鉄の中之島線のJR環状線並びに阪神なんば線の西九条駅までの延伸開業。	・私鉄の延伸については、私鉄事業主に委ねたいと考えています。
6	・すべての南海電鉄の特急「サザン号」の南海難波⇄和歌山港間の営業運転と座席指定車両のプレミアムシート化。 ※南海難波＝和歌山港～徳島港の「南海・徳島ライン」の快適性及び利便性の向上	・私鉄の特急列車の営業運転区間及びシート種別については、私鉄事業主に委ねたいと考えています。
7	・「関西国際空港の全体構想」の推進。 ※北米路線(ニューヨーク便・シカゴ便・トロント便)の充実 ※欧州路線(ロンドン便、ウィーン便、ブリュッセル便)の充実 ※国内路線(米子便・高知便)の充実	・関西が日本の成長を牽引、また、国際競争力を強化するためには、海外交易の窓口となる空港のポテンシャルを最大限に発揮する必要があります。関西広域連合は、「関西国際空港全体構想」の推進主体ではありませんが、関西国際空港の国際拠点空港としての機能強化等を図ることは不可欠と認識しています。このため、路線の充実などの要望を検討する際には、いただきましたご意見も参考にさせていただきます。

整理番号	ご意見・ご提案	関西広域連合の考え方
8	・阪神港を中心に、姫路港、堺泉北港、和歌山下津港、徳島小松島港の大阪湾岸の港湾で、港湾ネットワークを形成し、関西広域連合全体で世界を視野に「立業貿易」を推進する。	・関西が日本の成長を牽引、また、国際競争力を強化するためには、海外交易の窓口となる港湾のポテンシャルを最大限に発揮することが必要です。このためには、国際コンテナ戦略港湾である阪神港、日本海側拠点港である京都舞鶴港及び境港等、関西の主要港湾の機能強化が不可欠であることから、物流機能強化、防災強化、観光促進における連携施策を推進していきます。
9	・「名神高速道路」と「新名神高速道路」との早期ダブルフルネットワークの完成。 ・「関西大環状高速道路」（「紀淡海峡連絡自動車道」を含む。）の実現。	・関西大環状道路や放射状道路などの形成による関西都市圏の拡充等のため、高規格幹線道路等のミッシングリンクの早期解消へ向け、関西一丸となった取組を推進していきます。

■基本目標2 国の経済成長率を超える成長を目指す

整理番号	ご意見・ご提案	関西広域連合の考え方
10	・関西広域連合が関西広域連合の構成府県内の中小企業の振興を行い、関西広域連合全体の関西創生を行う。	・関西の成長産業であるライフ・グリーン分野への参入促進に向けた取組を進めていくほか、スモールビジネスの優良事例の発信や関西ブランドのプロモーションを行うことで、域内の中小企業の振興を図ってまいります。
11	・関西広域連合の構成府県内での地域地場産業の産業振興を行う。 ※京都府の西陣織り、丹後縮緬 ※徳島県の阿波しじら織り、阿波藍染め製品	・域外からの資金や人材を呼び込み、関西に持続的な経済発展をもたらすことは重要です。このため、豊富な地域資源や産業ポテンシャルを活かしたプロモーションを行うとともに、ラグビーワールドカップ2019、東京2020オリンピック・パラリンピック、関西ワールドマスターズゲームズ2021等、国際的なスポーツ大会の開催に向けて、地場産業や伝統産業、文化遺産、食文化等の関西の文化を活かした観光情報を発信、これらをつないだ周遊ルートを造成し、誘客促進も図ってまいります。
12	都市との交流による農山漁村の活性化と多面的機能の保全について ・現在、東京一極集中により、関西広域連合圏域における都市人口の減少が見られる。その中で、自然に恵まれて健康保持に役立つ山村・漁村がたくさんあると思う。それら山村・漁村に高齢者の人たちが健康で住めるよう、また、若い人たちが移住してそこで特徴的な生活を行い、何かを生み出せるように支援する予算拡大施策が是非必要であり、また、それら素晴らしい山村・漁村での成功例を生み出すことに、是非力を入れて欲しい。	・人口減少を克服し、地方創生を成し遂げるためには、地域の魅力を高め、継続的に人を呼び込む仕掛けづくりが重要です。特に、人口の減少と高齢化の進展が著しい農村等では、賑わいが喪失し、大きく衰退が見込まれるなど、地域・まちの維持、活性化が急務と認識しています。このため、関西広域連合としては、本戦略に掲げた「農林水産業を担う人材の育成・確保」や「都市との交流による農山漁村の活性化と多面的機能の保全」を着実に実行するとともに、いただいた意見も踏まえながら農山漁村の更なる活性化に向けた取組について検討してまいります。

■基本的方向③ 「アジアの文化観光首都」の創造

整理番号	ご意見・ご提案	関西広域連合の考え方
13	・京都の観光都市としての世界的評価は非常に高いと思うが、観光客として外国からの人たちの誘致をより活発にするとともに、今後、外国人が定住し、仕事ができる施策を京都はもとより他の都市でも行われればと思う。	・外国人観光客の誘客につきましては、戦略にも記載しておりますとおり、今後も活発に取り組んでまいります。 ・また、国内外を問わず、関西への移住を意識し、そして実現いただけるよう、地域の様々な魅力を発信するとともに、構成府県市との役割を踏まえながら、移住定住の促進に向けた取組について検討してまいります。
14	・文化の分野で、和装文化の再興隆策を追加して欲しい。観光、スポーツ、文化の振興、推進は関西広域連合の業務の一部である。和装文化・産業の再復興・推進政策が関西広域の緊急課題、政府にも政策提言すべきである。 ・これまで、訪日観光客の間で「着物」「ゆかた」がブーム、世界クラスのビッグタレントであるレディ・ガガの「着物風ファッション」など、五月雨式の情報は瞬間の和装人気を伝える。現在は、関西方面でも確かにこれまでよりは多くの和装姿の観光客を目にする。 ・和装の中で大きな分野の着物産業の川上では、製品供給力は弱体化、川下では市場の購買力は風前の灯の状況である。緊急に、経産省、文化庁も思い切った和装文化再興隆化政策を打たないと、和装文化の灯は消えるだろう。全国の養蚕農家は400戸に満たない、生糸生産量は10トン車3台分程度、産業とは呼べない。中国の養蚕、中国の製作が無くては「日本伝統文化一和装一着物」は存在できない。 ・「日本の着物」に関しては、川上には、染色、デザイン、織など、多くの職人がいる。これらの人材の枯渇も問題である。和装に関しては、高額商品を一握りの愛好家に依存してはならない。和装市場が形成できる産業に再興隆することは、日本文化の喫緊の課題である。 ・和装文化と言えば京都、誰もが認める。京都は関西広域連合の柱の一つでもある。加えて、着物姿の外国人観光客、日本人の着物姿は大阪府、大阪市、堺市、和歌山県、奈良県、京都府、京都市、滋賀県、兵庫県、神戸市、徳島県などで見かける広域の現象である。関西広域経済にも貢献している。広域行政で着物産業、着物文化関連教育（京丹後市峯山高校一着物文化研、ファッション専門学校、着物着付け学院、美術大学など）の促進も不可欠になる。	・関西には、有形無形の文化資源が数多く存在し、豊かな文化芸術資源のプロデュースにより、関西全域で一体となって観光・文化振興につなげることは重要と考えます。そのため、これまで「人形浄瑠璃」や「祭り」など関西が有する文化資源をテーマでつなぐ「文化の道」事業などに取り組み、関西文化の魅力を発信しているところです。和装の振興については、各自自治体で取り組まれているところですが、和装文化のイベントを含め、伝統芸能や祭り情報等、関西共通の文化の魅力を幅広く発信してまいります。

■基本的方向④ 防災・医療の充実による「安全・安心圏域」の創造

整理番号	ご意見・ご提案	
15	<p>防災・医療の充実について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後想定される南海トラフ巨大地震などへの取組について、関連部署間の情報連絡をより密に取れる方策の充実や、DMATのスムーズな活動及び防災に関与する専門家の育成を十分に行って欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・南海トラフ地震発生当初における災害対応を円滑に進めるため、「南海トラフ地震応急対応マニュアル」を平成27年度に作成するとともに、広域に被害が及ぶ南海トラフ地震を想定し、構成団体等との相互の連携強化と災害対応能力の向上を図るため、広域応援訓練を行うこととしています。 ・また、広域医療局、広域防災局と連携を密に図りながら、速やかに情報収集体制を確立し、ドクターヘリ、DMATの出動などについて、被災状況を見極めながら構成府県と調整を図ってまいります。 ・更に、総合的・体系的な研修の実施により、構成団体等における防災担当職員の人材育成も行っているところです。
16	<p>ドクターヘリによる広域救急医療体制の充実について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドクターヘリの運用の重要点は、大変費用がかかるという点である。現在、関西広域連合では、滋賀県においても済生会病院にヘリポートができ、京滋地域においてもドクターヘリが活用されている。今後、関西広域連合でより効率の良いドクターヘリの運用と、ドクターヘリに搭乗する医師、看護師の教育をしっかりと欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・関西広域連合が管内6機のドクターヘリを一体的な運航を図ることにより、2重、3重のセーフティネットを構築し、効率的、効果的なドクターヘリの運用を行っているところでありますが、引き続き、効果的な配置・運航体制等について、基地病院、行政、運航会社、有識者で構成する「ドクターヘリ関係者会議」において議論してまいります。また、ドクターヘリ搭乗医師、看護師の養成についても、基地病院と連携し、救急現場において必要な知識や技術をしっかりと習得できるようOJTを繰り返し、更なる人材育成に取り組んでまいります。

3 今後の方向性

整理番号	ご意見・ご提案	関西広域連合の考え方
17	<ul style="list-style-type: none"> ・関西広域連合が「関西広域連合 大学連携・地方創生人材育成支援事業」を行い、関西広域連合の構成府県内の各大学と連携して、関西広域連合全体の関西創生を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少を克服し、地方創生を成し遂げるためには、地域の魅力を高め、継続的に人を呼び込む仕掛けづくり、そして、関西の地方創生を一過性で終わらせないためには、高度な専門技術を有する人材や地域でリーダーを担う人材等、創造的な人材を育成し、関西への定着を確かなものにするのが重要です。また、地方創生において、大学間連携の重要性も認識しており、いただきました意見も踏まえ、地方創生に寄与する人材の育成について検討を進めてまいります。

その他

整理番号	ご意見・ご提案	関西広域連合の考え方
18	<ul style="list-style-type: none"> ・関西エアポート株式会社が一括して、伊丹空港、関西国際空港、神戸空港、南紀白浜空港、徳島空港の大阪湾岸周辺の空港の各空港ビルの管理運営による活性化を行う。 ※バニラ・エアの南紀白浜＝成田線の開設等 	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪湾周辺の空港の各空港ビルの管理等は、それぞれの管理運営会社により行われており、一括管理については各々の企業の意思が尊重され、取り組みについて判断されるものと認識しています。
19	<ul style="list-style-type: none"> ・奈良県にTOKYO-FM系の「FM奈良」の開局を行う。 ・和歌山県にTOKYO-FM系の「FM和歌山」の開局を行う。 ・「fm osaka」を中心に「kissfm-kobe」、「FM滋賀」、「FM徳島」、「FM山陰」で、「関西広域連合・JFNネットワーク」を形成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・開局しているFM放送の多くは民間事業者によるものであり、新たな開局や放送局間のネットワーク化にあたっては、ノウハウを有した民間事業主に委ねたいと考えています。
20	<ul style="list-style-type: none"> ・我が日本国全体の問題として、人口減少の克服が大きな課題となっている。しかしながら、出生率等の将来推計予測を見ても、人口の急速な回復は望み得なくなっている。このままでは国内における産業・経済に及ぼす影響もますます大きくなる懸念がある。昨今では、いよいよ本格的な海外からの移民政策を検討しないと追いつかないのではないかとの声も仄聞する。関西広域連合として、海外からの移民定住政策についてはどう考えているのか。政策的・行政的課題の洗い出しは、十分になされているのだろうか。生活保障や(地方)参政権の付与のあり方については、各自自治体ごとにスタンスや温度差もあるかと思われるが、できれば近畿圏として統一的な理念(同国人化を進めるのか多文化共生的にいくのか等)、方針など考えていった方がよろしくないか。 ・また移民だけでなく、紛争発生などによる「難民」の受け入れの考えは如何か。東南アジア・東アジアに於いても突発的紛争リスクが高まってはいないだろうか。突発的紛争発生リスクに備え、国に対して「難民受け入れ」に関する態勢整備や、基本方針の策定につき十分に要望はされているのか。 ・「移民」にせよ「難民」にせよ、その受け入れについては、今後、それ相応のリスクが伴うものと思われるが、うまくいけば日本や近畿関西の活性化に結び付くかもしれない。日本や近畿関西の活性化に結び付く(かもしれない)国への要望や施策の策定を望む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・移民・難民の受入については、国の政策上の問題でありますので、国に委ねたいと考えています。